

教科	工 業	科目	船舶工学（船舶工作）	単位数	2 単位（選択）	学年	2 学年
学科	機械造船科	コース	造船コース	教科書	SAIL TO THE FUTURE 造船工学1・2・3 (一般社団法人日本中小型造船工業会 全国造船教育研究会)		
副教材							
学習 目標	造船建造工程、造船建造技術、造船工場設備について学び、船の構造、機装・艀装、船体艀装、図面や船体構造について理解する。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学期	4 月	第16章 建造のあらまし 16.1 建造法の移り変わり 16.2 船の建造工程 16.3 建造日程の立て方と 工程管理の狙い	・船の受注から引渡しまでの建造過程や建造方法について学び、造船建造技術について理解している。 ・効率的な建造過程について、の工夫と改善について理解し、コストダウンに向けての取組を理解している。	◎	○		
	5 月	16.4 各種建造方式		○		◎	
	6 月	第17章 現図 17.1 現図作業 17.2 線図 17.3 展開図		◎	○		
	7 月	第18章 加工 18.1 野書 18.2 切断 18.3 曲げ作業	・図面から寸法・記号・文字を材料に書く作業、各種切断方法、曲げ機械による冷間加工、熱間加工・ぎょう鉄作業について理解している。	◎	○		
					○		
						○	
2 学期	8 月	第19章 組立と溶接 19.7 溶接一般 19.9 溶接品質管理	・各種溶接法（手動から自動溶接法）、溶接作業の注意事項、変形（ひずみ）と残留応力、溶接欠陥と溶接部の検査について学び、ブロック形状と組立方法について理解している。 ・組立、大組立の工程を理解し、曲げ、切断などの基本的な加工方法について理解している。	◎	○		
	9 月				◎		
	10 月	19.5 小組立 19.3 大組立			○	◎	
	11 月	第20章 搭載 20.1 船台工事の内容と設備 20.2 搭載と位置決め	・船台建造、建造ドック建造、クレーン設備について理解している。	◎	○		
	12 月	第21章 進水 21.1 進水の種類		◎		○	
3 学期	1 月	第22章 艀装 22.1 あらまし 22.1 艀装方式 22.4 船体艀装 22.5 機関艀装 22.6 電気艀装 22.7 試験、調整と運転	・甲板部・居住区艀装、軸系装置、主機関、ボイラ、主機関以外の補機、雑装置、自動化、電気設備と電気工事、造船所で行われる諸試験と確認運転について理解している。 ・試運転の方法と、基礎的な各部署における調整の工程について理解している。	◎		○	
	2 月			○	◎		
						○	
	3 月	第23章 塗装と防食工事 23.1 塗装	・塗装工程と塗装作業について、船舶の省エネ・環境・寿命に影響することを理解している。	◎	○		
					◎		
				○		◎	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	[課題・提出物等] ワークシートや課題プリント、授業ノート等の提出 [評価方法] 定期考査や小テストによる評価、学習の取組状況の評価等による総合評価
------	---